

## 審判・監督会議資料

### 1. 審判団編成

- (1) 形競技の審判団は主審1名、副審4名の計5名で編成される。
- (2) 組手競技の審判団は主審1名、副審4名、監査1名より編成される。  
大会審判員は公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。  
(公財)全日本空手道連盟地区組手審判以上を有し、全日本空手道連盟九州地区協議会に加盟する各県空手道連盟が派遣した審判員により編成する。

### 2. 競技規定

- 1) 競技は公益財団法人全日本空手道連盟〈空手競技規定〉により行う。
- 2) 形競技個人戦
  - (ア) トーナメント方式で2名同時に行うが決勝戦は1名ずつ各コートにて競技する。  
但し3位決定戦は行わない。
  - (イ) 準決勝までフラッグ様式とし決勝は得点方式とする。
  - (ウ) ベスト16以下は、ゲキサイ1、ゲキサイ2、平安、又はピンアン初段～5段の中から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
  - (エ) ベスト8以上は、全空連第1指定形、第2指定形、又は上記(ウ)の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰り返し演武することができる。
  - (オ) コートへの入場は決勝戦を除き、時間短縮のため直接形開始位置へ進み演武する。  
**※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により競技中もマスクを必須とする。**

### 3) 組手競技個人戦

- (ア) トーナメント方式で行い3位決定戦は行わない。
- (イ) 決勝戦は各コートにおいて競技する。
- (ウ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
- (エ) 勝負は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技時間終了時に先取点が無い場合は、「判定」として勝敗を決する。
- (オ) 12歳未満の禁止事項については公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定「14歳未満の空手競技・組手試合(12歳未満)」を適用する。ただし、出場試合数及び安全具については本大会実施要項の通りとする。

### 4) 組手安全具

- (ア) 組手全種目に拳サポーター(全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター)、全空連検定メンホー及びボディプロテクター、全空連検定小学生用インステップガード及びシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。  
**※新型コロナウイルス感染拡大防止対策によりメンホー着用時にもマスクを必須とする。**  
**(マウスシールド不要)**
- (イ) 小学3～6年生男子組手出場選手は、必ずファールカップを着装すること。  
ただし、1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。
- (ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、充分注意すること。

### 5) 服装

- (ア) 監督・コーチは半袖・ネクタイ着用し必ず靴を履くこと。  
**※審判との区別を明確にするため審判と異なるネクタイを着用すること。**  
監督・コーチ用IDカードは、事前に配付する。
- (イ) 選手は、競技規定にそった清潔な白の空手衣を着用すること。なお、左胸に県名を入れること。  
※背中 of 道着メーカータグ、前年まで出場した全国少年少女大会のエンブレムその他これらに類するものは、外すこと。(道着その他の点検については召集時に行う)
- (ウ) 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。
- (エ) 青帯・赤帯は各自全空連で検定された帯を用意し、着用すること。主催者では用意しない。